

学校教育目標		重点目標（中・長期的目標）		総合評価				
憲法及び教育基本法に基づき、特に次の事項に留意して教育実践に当たる。 1. 生徒の自主性を高め、個性を伸ばし、社会性を養い、実践力のある社会人の育成に努める。 2. 社会および自然に関する科学的思考力を高め、人文領域への関心を深めさせることで総合的学力の涵養をはかる。 3. 体育及び芸術教育を通して、情操教育を尊重し、心身の調和的発達を期する。 4. 課程・学校の性格を明確にし、相互の協力をはかるとともに、地域に根ざし、特色の発揮に努める。								
	今年度目標	中間評価	成果と課題	A	B	C	改善策・向上策	
	(1)個々の生徒の進路実現をめざし、学力の伸長をはかる。	進路指導や学年、教科を中心に、学力を伸ばすべくさまざまな取り組みを行っている。	各教科、HR、学年、進路指導係、クラブ指導等を中心にして、生徒一人一人の希望や適性にあった進路指導や学力の伸長を目指した実践を行った。		○		・生徒の状況をより的確に把握する。 ・社会や世界の情勢を理解し、生徒に対応する。	
	(2)基本的な生活習慣の確立をはかり、様々な活動に積極的に参加する自主性を伸ばす。	生徒指導や学年を中心に、頭髮など身だしなみ指導や街頭指導を通じて、基本的な生活習慣の確立を図っている。部活動では、運動部文化部とともに複数のクラブが全国大会に出場し活躍した。	基本的な生活習慣の身につけている生徒が若干いる。基本的な生活習慣の確立が、学力向上や進路実現に直結することを改めて意識させたい。クラブ指導などを通して、生徒の自主性の伸長が図られている。			○	・日々の「当たり前」と思われる実践を充実させる。 ・生徒との対話を通して、生徒が自分なりに考え判断する契機や機会を増やす。	
(3)より開かれた学校をめざし、家庭・地域との連携を強めその実現をはかる。	P T Aや中学校、学校評議員などの意見を取り入れて対応している。特に環境整備においては、多くの保護者が参加して学校内の学習環境整備を行った。	HR・学年やP T Aを通して、保護者や家庭との連携が強くなっている。P T A役員を中心に長野県高等学校P T A連合会の会長校としての職責を全うした。			○	・P T A活動への参加者を多くする。 ・生徒会活動の活性化		

領域	対象	評価項目	評価の観点	中間評価	成果と課題	A	B	C	改善策・向上策
教育課程	教育課程	(1)来年度より一部先行実施の新学習指導要領に基づく教育課程の編成を行う。 (2)現1・2年生の教育課程の改訂を行う。	(1)新教育課程の編成を、オープンな議論で実施できたか。 (2)現行教育課程の改訂ができたか。	(1)一昨年および昨年度と比べ、オープンな議論を実施している。 (2)学校の実情にあった形で改訂を行っている。	平成24年度以降入学の生徒対象の教育課程編成と、現行教育課程の改訂がオープンな議論のもとに実施できた。新課程に関しては、入学試験などの動向により、今後も改訂作業が必要となると考えられる。		○		入学試験の動向により改訂作業は、情報収集を適宜行い、本校の実情にあったものに随時改訂していく必要がある。
	進路指導	・生徒、保護者が納得する進路実現を目指す。 ・早い時期からの進路意識の向上を図る。	・生徒、保護者が望む進路を実現できたか。 ・各学年に適した進路指導ができたか。	現在進行中である。今のところ、就職で残念だった生徒もいるが概ね順調に進んでいる。	まだ、一部の生徒は今後の結果待ちの部分もあるが、ほとんどの生徒が自ら望む進路を実現できている。 多くの進路行事を通じ、下級生の進路意識も高まってきている。		○		安易な方法や道を選択することなく、最後の最後まで粘り強く学習を続け、自らの道を切り開いていけるような意識と環境作りが大切になると思われる。
	人権平和教育	人権平和教育の推進により、人権に対する意識を高め、平和な社会の実現を目指す生徒の育成を図る。	(1)人権平和教育について、生徒職員への啓発ができたか。 (2)内容は適切であったか。 (3)各学年、係等との連携が図れたか。	当初の計画通り推進できている。 本年度は平和教育の講演の実施と感想文の回収冊子作りを予定し、講演については実施した。冊子については今後制作の予定。	災害と憲法、戦争と人権の二つが今年度の人権平和教育であつた内容だったが、生徒の感想文を見る限り、関心は深く、よく考えた生徒が多かつたように思う。			○	生徒間の人権感覚やモラルについての啓蒙活動が、必要であると思われるので今後考えてゆきたい。
	図書	(1)楽しく、豊かな読書体験ができるような環境を整える。 (2)教科や係と連携して、主体的な学習の援助を行う。	(1)図書館から新着図書紹介などの情報が発信できたか。 (2)教科や係の必要とする資料やサービスが提供できたか。	読書への関心を高めてもらえるように読書月間を中心に働きかけを行い、利用は伸びている。全校一斉の朝の読書の時間も確保していただき、読書への関心も高まった。	(1)図書館だよりを月1回のペースで発行し、新着図書の案内をすることができた。 (2)2学期は授業での利用が多かつた。必要な図書は他の図書館から借りて提供することができた。			○	・本や図書館に興味を持ってもらえるような機会を増やす。 ・教科との連携では、場所の提供だけでなく、もっと図書館や図書が関わっていけるよう工夫する。
	視聴覚	(1)視聴覚教育充実のための環境整備を行う。 (2)メディアリテラシー教育の推進を図る。	(1)芸術鑑賞の実施により、芸術に触れる姿勢・態度の育成ができたか。 ②視聴覚機器の整備・更新を図り、教育内容の充実に貢献したか。 (2)教科や特別活動を通じて、メディアリテラシー教育を推進できたか。	(1)①今年度は演劇鑑賞があつたが、おおむね好評だつた。 ②放送機器の老朽化が目立ち、順次更新が必要である。 (2)授業やホームルーム活動を通じて実施している。	放送室の放送機器の更新ができたため、その他の機器管理を充実させていくことが必要となる。 携帯通信機器の高性能化と普及に対応したメディアリテラシー教育の充実が必要である。			○	携帯通信機器の利用に関するモラル教育などの充実が、今後一層必要となる。
教育活動	生徒指導	(1)社会から信頼される基本的な生活習慣の確立を図る。 (2)公共心の育成をはかる。 (3)安全で安心できる学校生活を推進する。	(1)無断の遅刻・早退・欠課をなくさせたか。 (2)頭髮・服装など身なりを質素にし、きまりをまもることへの適切な指導ができたか。 (3)交通法則を遵守し、安全に通学する指導ができたか。	様々な問題行動や身だしなみ等の指導に積極的に係が関わるよう心がけている。	担任・学年との連携を図りながら個々の生徒に対する指導ができた。			○	・引き続き担任・学年と連携を図りつつ生徒指導に当たる。 ・人権・マナー教育の早期実施を図る必要がある。
	教育相談	(1)心の問題を抱える生徒への対応を行う。 (2)学年会との連携を密にとり、生徒の状況把握をする。 (3)関係職員や保護者への支援体制を作る。	(1)①問題を抱えている生徒に対して適切な支援・対応ができたか。 ②必要に応じた職員研修ができたか。 (2)生徒の状況把握がしっかりできたか。 (3)スクールカウンセラーをはじめ、外部機関との連携がとれたか。また、校内でのチーム支援ができたか。	学年、担任からの情報により、連携しながら該当生徒に対応している。また、必要な生徒に対してカウンセリングを実施している。	(1)担任・学年との連携をとるなかで、心の問題を抱える生徒や保護者に対して、カウンセリングの実施等の支援を行うことができた。また、必要に応じて生徒や保護者と面談し話を聞くこともあつた。 (2)必要に応じて係会を実施し、生徒の状況の把握を行うことができた。 (3)スクールカウンセラーと連携をとる中で、外部機関を動もってもらうこともあつた。継続的にカウンセリングを受けた生徒がいた。前年度よりもカウンセリング実施時間が増えた。			○	問題を抱える生徒の状況を早めに把握することにより、早めの対応に心がけた。今年度はカウンセリングを継続的にうける生徒がいたが、スクールカウンセラーとの関係もより密になっていきたい。
	生徒会	(1)自治活動を通じて市民性の育成を図る。 (2)クラブ活動に積極的に取り組めるようにする。 (3)生徒会と地域との連携を図る。	(1)生徒会活動に生徒が積極的に参加できたか。 (2)クラブ活動への加入率はどうかあつたか。 (3)保護者や地域住民との交流ができたか。	クラブ活動への加入者が多く、運動系・文化系とも活発に活動している部が多い。鈴蘭祭には、多くの生徒が積極的に取り組んだ。鈴蘭祭や地域のお祭りで、地域(住民)との交流もできた。	鈴蘭祭や震災への募金活動などの活動に積極的に取り組むことができた。多くの生徒に呼びかけ、全校で盛り上げていくことや、役員の負担を減らししていくことが課題である。			○	より多くの生徒が生徒会活動に関わっていけるように、計画的に物事進め、情報を全校生徒に流し、目標の一つにも掲げている全校の一体感を創っていく。ボランティア・奉仕活動も活発化させていきたい。
	美化	校舎内外の環境美化を整え、活動しやすい環境づくりをしていく。	活動しやすい環境づくりのために清掃・ゴミ分別、ゴミ回収の周知徹底ができたか。	清掃・ゴミ分別、ゴミ回収の徹底についてはまだ不十分である。今後も継続して徹底できるよう指導していく。	学習しやすい環境美化づくりのための清掃・ゴミ回収の周知徹底は、まだ不十分なところが多かつた。来年度も継続して全校に徹底できるよう指導していきたい。			○	引き続き、全校の生徒・職員に呼びかけ、清掃・ゴミ分別・ゴミ回収の徹底を行い、学習しやすい環境づくりをしていく。
保健	(1)健康教育の充実。 (2)生徒一人一人の健康状態の把握と保健管理。	(1)健康維持増進のための健康教育が適切に行われたか。 (2)健康診断と事後指導は適切に行われたか。	職員・生徒に向けた定期的な保健だよりの配布を行った。	クラス担任の協力により(1)(2)とも実施できた。特に感染予防について積極的に対応できた。			○	生活習慣の確立	

教務	庶務	本校教育活動の円滑な運営。	・各種行事の効率的な運営と見直し。 ・各部、係、学年、教科との密な連絡調整。	各部署との連携、内規見直しに努めている。「総合的な学習の時間」については、各学年で計画通り実施できている。次年度講座選択については進路調査と選択科目の集約が順調に進んでいる。	各種行事は円滑に運営できた。 多様な意見要望等をいかに全体で考え、いかに学校全体をより良いものにしていくべきか課題である。			○	定期テストの日程見直しなど、よりよい日程作りには継続して取り組み必要がある。 赤穂高校がさらなる発展をするように、より検討していきたい。
	広報・情報	魅力ある赤穂高校のPR、校内ネットワークの安全かつ効率的な運用。	HP、学校案内等で赤穂高校の魅力が伝わったか、校内ネットワークが安全かつ効率的に運用されたか。	魅力ある学校案内の作成、HPの更新に努めている。	(1) 随時HPを更新し、諸活動のPRを行った。 (2) 校内LANは通年安定した状況で運用することが出来た。			○	多くの地域の方に閲覧いただくよう、随時更新を行い魅力的なHPにしたい。
	防災	防災意識を高め、緊急時に備える。	防災意識が高められたか。	防災訓練等により効果が上がった。	社会全体の防災意識の高まりの中で、より適切な指導・訓練を考える。			○	地元関係機関との連携をさらに深める。
学校運営	予算施設	(1)学校予算について検討協議する。 (2)校内施設や設備の管理について協議推進する。	(1)備品購入費・需用費が適正に執行できたか。 また、効果的に運用されたか。 (2)校内施設が有効利用されたか。 また、整備・修理が適正に行われたか。	年々予算が減少されてきている中で、予算に応じて適正に執行され、効果的に運用されている。	(1) (2) 共に全職員の協力の下、適正にすることができた。			○	少ない予算の中で、予算に応じて適正に執行が行われ、校内施設の整備・修理が安全面も含め効果的に行われていくようにしていく。
	学校運営検討	学校運営上の問題等について検討し方向性を出す。	学校運営上の問題に対して迅速に対応できたか。	概ね迅速に対応している。	要望や意見を率直に出す雰囲気作りの醸成が課題である。			○	要望があったら、迅速対応をしたい。
	P T A	P T A事務局としての円滑な運営ならびに多くの保護者のP T A活動への参加の促進。	P T A活動が円滑に行なわれ、多くの保護者が参加し、子供、学校とかかわりを持つことができたか。	ほぼ、予定どおりに運営できた。 ただ、P T A旅行は参加者が少なかった。 (諸行事と重なった。日程の難しき有り。)	P T A活動が、円滑に充実して行われた。また、会員同士の親睦を深めることもできた。研修旅行の日程は、難しい。 長野県高P連の会長校として、貢献できた。			○	P T A総会の日程(次年度4月最終週4/27が、クラブ活動等との関連で、開催困難になっている)と研修旅行の日程を再検討する必要がある。
	同窓会	同窓会の円滑な運営	同窓会活動が活発に行われるよう取り組むことができたか。	母校への支援を積極的に推進している	学校教育に必要な支援を積極的に行うことができた。			○	引き続き母校への支援を可能な範囲で行うよう心がける
	学校評議員会運営	学校評議員会の効果的な運営を行う。	学校評議員の意見要望を学校運営に生かすことができたか。	・学校評議員の意見や要望を傾聴している。	学校評議員より多角的に意見をいただいた。			○	学校評議員会で活発な意見交換を図る。
	安全衛生	教職員の健康管理の推進を図る。	全職員に対して健康診断の実施と事後措置を実施できたか。	・「安全衛生だより」を出すなどして、職員の健康管理意識の向上を図っている。	・健康管理の意識を高めたり、健康な毎日を送るための多角的な働きかけができた。			○	委員会開催回数を増やす。
修学旅行	修学旅行の検討。	①目的地・日程などについて、保護者や生徒の意見を取り入れながら、生徒にとって有意義で無理のない適切な設定ができたか。 ②業者選定にあたって、保護者の意見も取り入れながら、見積書の提出、選定方法等適正な処理がなされたか。	・費用や日程について配慮しながら、生徒にとって有意義な研修となるように計画を立てている。 ・業者選定に当たってのプレゼンテーションを実施した。	・計画通りに実施できた。事前学習への取組も良好であった。			○	次年度に向けて、生徒にとって有意義な研修となるように、計画を立案し実施する。	